



NEC Expressワークステーション
Express5800シリーズ

Express5800/54Xb

**Microsoft Windows XP
Professional**

インストールレーションサプリメントガイド

商標について

EXPRESSBUILDERとExpressPicnicは日本電気株式会社の登録商標です。

Microsoft、Windows、Windows NT、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

Windows Server 2003はMicrosoft® Windows® Server 2003 Standard Edition operating systemおよびMicrosoft® Windows® Server 2003 Enterprise Edition operating systemの略称です。

Windows XPはMicrosoft® Windows® XP Professional operating systemの略称です。

Windows 2000はMicrosoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略称です。

Windows NTはMicrosoft® Windows NT® Server network operating system version 4.0およびMicrosoft® Windows NT® Workstation network operating system version 4.0の略称です。

Windows MeはMicrosoft® Windows® Millennium Edition Operating Systemの略称です。

Windows 98はMicrosoft® Windows®98 operating systemの略称です。

Windows 95はMicrosoft® Windows®95 operating systemの略称です。

サンプルアプリケーションで使用している名称は、すべて架空のものです。実在する品名、団体名、個人名とは一切関係ありません。

ご注意

- (1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
- (2) 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3) NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
- (4) 本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
- (5) 運用した結果の影響については(4)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

はじめに

このたびは、NECのExpress5800シリーズ製品をお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書では、Express5800シリーズワークステーション「Express5800/54Xb」で使用するオペレーティングシステム「Microsoft® Windows® XP Professional 日本語版」をインストールする方法について記述しています。

(Express5800シリーズのセットアップ(OSのインストールを含む)は添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」の「シームレスセットアップ」機能をお使いになることをお勧めします。)

本書での内容は、Windows XPやWindows 2000、Windows NT、Windows 95/98/Meの機能や操作方法について十分に理解されている方を対象に説明しています。OSの操作や不明点については、各OSのオンラインヘルプなどを参照してください。

本書は上記に示すモデル専用の説明書です。添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」の中には他のモデル用の説明書が含まれている場合もあります。本書を参照してインストールをする前に、お使いになっているモデルを確認してください。

本文中の記号について

本文中では次の3種類の記号を使用しています。それぞれの意味を示します。



ユーティリティや装置を取り扱う上で守らなければならない事柄や特に注意をすべき点を示します。



ユーティリティや装置を取り扱う上で確認をしておく必要がある点を示します。



知っておくと役に立つ情報や、便利なことなどを示します。

ソフトウェア使用条件

添付のCD-ROM内のソフトウェアを使用するにあたって、添付のソフトウェアのご使用条件をお読みになり、その内容についてご確認ならびにご承諾ください。

ユーザーサポートについて

ソフトウェアに関する不明点や問い合わせは別冊の「ユーザーズガイド」に記載されている保守サービスセンターへご連絡ください。また、インターネットを使った情報サービスも行っておりますのでご利用ください。

<http://nec8.com/>

『NEC 8番街』：製品情報、Q&Aなど最新Express情報満載！

<http://www.fielding.co.jp/>

NECフィールドイング(株)ホームページ：メンテナンス、ソリューション、用品、施設工事などの情報をご紹介します。

概要

Express5800シリーズの再セットアップをするときは、「シームレスセットアップ」と「マニュアルセットアップ」の2つの方法があります。本書では「マニュアルセットアップ」の手順を説明します。

それぞれのセットアップについて以下に説明します。(Express5800シリーズのセットアップは、「シームレスセットアップ」を使ってセットアップすることをお勧めします。)

シームレスセットアップ

「シームレスセットアップ」とは、ハードウェアの内部的なパラメータや状態の設定からOS (Windows XP)、各種ユーティリティのインストールまでを添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」を使って切れ目なく(シームレスで)セットアップできるExpress5800シリーズ独自のセットアップ方法です。

購入時の状態と異なるハードディスクのパーティション設定で使用する場合やOSを再インストールする場合は、シームレスセットアップを使用すると煩雑なセットアップをこの機能が代わって行います。

シームレスセットアップの方法については「ユーザーズガイド」で説明しています。

また、再インストールのときに前回使用したセットアップパラメータFDを使用すると、前回と同じ状態にExpressワークステーションをセットアップすることができます。

「セットアップパラメータFD」は、EXPRESSBUILDERにある「ExpressPicnic®」を使って事前に作成しておくことができます。

事前に「セットアップパラメータFD」を作成しておくことで、シームレスセットアップの間に入力や選択しなければならない項目を省略することができます。(セットアップパラメータFDにあるセットアップ情報は、シームレスセットアップの途中で作成・修正することもできます)。セットアップパラメータFDの作成方法については、「ユーザーズガイド」で説明しています。

マニュアルセットアップ

Windows XPやディスクドライバ、ネットワークアダプタドライバのインストール、および保守用パーティションの設定や、各種ユーティリティなどをひとつひとつ手作業で行う方法です。

セットアップ後にシステム固有のモジュールを適用するNECアップデートモジュールのインストールを行ってください。

注意事項

マニュアルセットアップを始める前にここで説明する注意事項をよく読んでください。

システムのアップデートについて

Express5800シリーズのシステム構成を変更したときは、必ずExpress5800シリーズに添付のCD-ROM「EXPRESSBUILDER」を使って、システムをアップデートしてください。詳しくは、14ページを参照してください。

Service Packの適用について

Service Packを使用する場合は、下記サイトより詳細情報を確かめた上で使用してください。

[NEC 8番街] <http://nec8.com/>

MO装置について

インストール時にMO装置を接続したままファイルシステムをNTFSに設定すると、ファイルシステムが正しく変換されません。MO装置を外してインストールを最初からやり直してください。

作成するパーティションサイズについて

システムをインストールするパーティションの必要最小限のサイズは、次の計算式から求めることができます。

$$\begin{aligned} & \text{インストールに必要なサイズ} + \text{ページングファイルサイズ} + \\ & \text{ダンプファイルサイズ} + \text{ハイバネーション用サイズ} + \text{アプリケーションサイズ} \\ & \text{インストールに必要なサイズ} \quad = 2700\text{MB} \\ & \text{ページングファイルサイズ(推奨)} \quad = \text{搭載メモリサイズ} \times 1.5 \\ & \text{ダンプファイルサイズ} \quad = \text{搭載メモリサイズ} + 12\text{MB} \\ & \text{ハイバネーション用サイズ} \quad = \text{搭載メモリサイズ} \end{aligned}$$



- 上記ページングファイルサイズはデバッグ情報(メモリダンプ)採取のために必要なサイズです。ページングファイルサイズの初期サイズを「推奨」値未満に設定すると正確なデバッグ情報(メモリダンプ)を採取できない場合があります。
- 搭載メモリサイズが2GB以上の場合のダンプファイルサイズは、「2048MB+12MB」です。
- その他アプリケーションなどをインストールする場合は、別途そのアプリケーションが必要とするディスク容量を追加してください。

例えば、搭載メモリサイズが512MBの場合、必要最小限のパーティションサイズは、上記の計算方法から

$$2700\text{MB} + (512\text{MB} \times 1.5) + (512\text{MB} + 12\text{MB}) + 512\text{MB} + \text{アプリケーションサイズ} = 4504\text{MB} + \text{アプリケーションサイズ}$$

となります。

システムをインストールするパーティションサイズが「インストールに必要なサイズ+ ページングファイルサイズ」より小さい場合はパーティションサイズを大きくするか、ディスクを増設してください。

ダンプファイルサイズを確保できない場合は、次のように複数のディスクに割り当てることで解決できます。

- (1) 「インストールに必要なサイズ+ ページングファイルサイズ」を設定する。
- (2) ユーザーズガイドの「障害処理のためのセットアップ」を参照して、デバッグ情報(ダンプファイルサイズ分)を別のディスクに書き込むように設定する。

ダンプファイルサイズを書き込めるスペースがディスクにない場合は、「インストールに必要なサイズ+ ページングファイルサイズ」でインストール後、新しいハードディスクを増設してください。

ミラー化されているボリュームへのインストールについて

[ディスクの管理]を使用してミラー化されているボリュームにインストールする場合は、インストールの実行前にミラー化を無効にして、ベーシックディスクに戻し、インストール完了後に再度ミラーボリュームの作成あるいはミラーボリュームの解除、および削除は[コンピュータの管理]内の[ディスクの管理]から行えます。

アップグレードインストールについて

- Windows 2000からのアップグレードインストールを行う場合は、Windows 2000を格納したパーティションに、約630MBの空き容量が必要です。空き容量が不足している場合には、不要なファイルを削除するなどして、空き容量を確保してください。
- 「PROSet」をインストールしている場合は、アップグレードインストールを行う前に「PROSet」を削除してください。またアップグレードインストールを行った後、「PROSet」が必要な場合はWindows XPの「PROSet」のインストールを行います。インストールの詳細は15ページを参照してください。

N8103-73A/74/80接続時のマニュアルインストールについて

N8103-73A/74/80を接続時のインストール作業中にポップアップメッセージが表示されますが、システム動作上、問題ありません。[はい]をクリックして続行してください。

以降は、メッセージに従ってインストール作業を続けてください。

| ソフトウェアのインストール |
|---|
|  は、Windows XPとの互換を検証するWindowsロゴテストに合格していません。インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり、システムが不安定になるなど、重大な障害を引き起こす要因となる可能性があります。今すぐインストールを中断し、ソフトウェアベンダに連絡して、Windowsロゴの認定テストに合格したソフトウェアを入手することを、Microsoftは強く推奨します。 |
| ソフトウェアのインストールを続行しますか？ |
| <input type="button" value="はい"/> <input type="button" value="いいえ"/> |

| ハードウェアのインストール |
|--|
|  このハードウェア： |
| LSI Logic MegaRAID i4 IDE RAID Controller * |
| を使用するためにインストールしようとしているソフトウェアは、Windows XPとの互換性を検証するWindowsロゴテストに合格していません。 |
| インストールを続行した場合、システムの動作が損なわれたり、システムが不安定になるなど、重大な障害を引き起こす要因となる可能性があります。今すぐインストールを中断し、Windowsロゴテストに合格したソフトウェアが入手可能かどうか、ハードウェアベンダに確認されることを、Microsoftは強く推奨します。 |
| このハードウェアのためのソフトウェアのインストールを続行しますか？ |
| <input type="button" value="はい"/> <input type="button" value="いいえ"/> |

* 接続されているアレイボードの型番により異なります。

マニュアルセットアップ

マニュアルセットアップでWindows XP Professional 日本語版をインストールする手順を次に示します。以下、「Windows XP」と呼びます。

シームレスセットアップでインストールをする場合は、ユーザーズガイドを参照してください。



セットアップを始める前に必ず2ページの「注意事項」を参照してください。パーティションの作成などに関する説明があります。

マニュアルセットアップに必要なもの

作業を始める前に次のディスクや説明書を用意します。

- EXPRESSBUILDER (CD-ROM)
- Microsoft Windows XP Professional 日本語版 (CD-ROM) または、バックアップ CD-ROM WinXP Professional 再インストール用 (以降、バックアップ CD-ROM)
- Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDER (または 1.44MB フォーマットの 3.5 インチ フロッピーディスク 1 枚)
- ファーストステップガイド
- ユーザーズガイド

インストールの準備

インストールを始める前に「Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」を作成してください。



ヒント

ディスクアレイコントローラボードを装着していない場合は必要ありません。また、すでにこの装置用の「Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」をお持ちの場合は、再度作成する必要はありません。

Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDERは、次の2とおりの方法で作成することができます。

- EXPRESSBUILDERでExpressワークステーションを起動して表示されるメニューから作成する

次の手順で作成します。

- 1 3.5インチフロッピーディスクを1枚用意する。
- 2 システムの電源をONにする。
- 3 システムのCD-ROMドライブにCD-ROM「EXPRESSBUILDER」をセットする。
- 4 CD-ROMをセットしたら、リセットする(<Ctrl>+<Alt>+<Delete>キーを押す)か、電源をOFF/ONしてシステムを再起動する。

CD-ROMからシステムが立ち上がり、EXPRESSBUILDERが起動します。

- 5 「ツールメニュー」から「サポートディスクの作成」を選択する。
- 6 「サポートディスク作成メニュー」から「Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」を選択する。
- 7 画面の指示に従ってフロッピーディスクをセットする。

「Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が作成されます。作成した「Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」はライトプロテクトをし、ラベルを貼って大切に保管してください。

● マスターコントロールメニューから作成する

マスターコントロールメニューは、次のオペレーティングシステム上で起動します。

- Windows Server 2003
- Windows XP
- Windows 2000
- Windows Me/98/95
- Windows NT 4.0

上記のオペレーティングシステムで動作しているコンピュータを使用できる場合は、マスターコントロールメニューからWindows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDERを作成することができます。

次の手順で作成します。

- 1 3.5インチフロッピーディスクを1枚用意する。
- 2 Windows Server 2003、Windows XP、Windows 2000、Windows Me/98/95、またはWindows NT 4.0を起動する。
- 3 CD-ROM「EXPRESSBUILDER」をCD-ROMドライブにセットする。

マスターコントロールメニューが起動します。

- 4 [ソフトウェアのセットアップ]を左クリックし、[OEMディスクの作成] – [for Windows XP]の順にメニューを選択する。

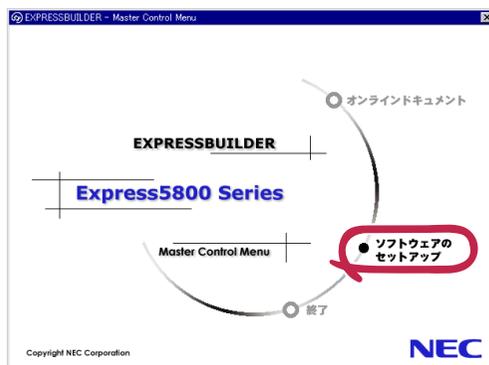


右クリックで現れるポップアップメニューでも同様の操作ができます。

- 5 画面の指示に従ってフロッピーディスクをセットする。

「Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」が作成されます。

作成した「Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDER」はライトプロテクトをし、ラベルを貼って大切に保管してください。



Windows XPのインストール

次の手順に従ってインストールします。インストールは、「新規インストール」とWindows 2000がインストールされているシステムをWindows XPにする「アップグレードインストール」の2つの方法があります。

新規インストール

次の手順に従ってインストールします。

- 1 システムの電源をONにする。
- 2 システムのCD-ROMドライブにWindows XP CD-ROMまたはバックアップCD-ROMをセットする。
- 3 Windows XP CD-ROMまたはバックアップCD-ROMをCD-ROMドライブにセットしたら、リセットする(<Ctrl>+<Alt>+キーを押す)か、電源をOFF/ONしてシステムを再起動する。



重要

ハードディスク上に起動可能なOSがインストール済みの場合は、画面上部に「Press any key to boot from CD...」が表示がされている間に<Enter>キーを押してください。起動可能なOSが存在しない場合は不要です。

CD-ROMからシステムが立ち上がり、システムが再起動します。

Windows XPのセットアップ画面が表示されます。画面が表示されなかった場合は、<Enter>キーが正しく押されていません。もう一度システムの電源をONし直してから始めてください。

- 4 装置にディスクアレイコントローラ(N8103-73A/80)かディスクミラーリングコントローラ(N8103-74)が取り付けられている場合は画面上部に「Setup is inspecting your computer's hardware configuration...」が表示されている間に<F6>キーを押す。



チェック

<F6>キーを押しても、このときには画面上には何の変化もあわれません。

<F6キー>を押す必要がない場合は、これ以降の手順は必要ありません。画面の指示に従ってセットアップしてください。詳細については「ファーストステップガイド」を参照してください。

5 以下のメッセージが表示されたら<S>キーを押す。

Setup could not determine the type of one or more mass storage devices installed in your system, or you have chosen to manually specify an adapter. Currently, Setup will load support for the following mass storage devices.

以下のメッセージが表示されます。

Please insert the disk labeled
manufacturer-supplied hardware support disk
into Drive A:
* Press ENTER when ready.

6 Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDERをフロッピーディスクドライブドライブにセットし、<Enter>キーを押す。

SCSIアダプタのリストが表示されます。

7 装置にディスクアレイコントローラやディスクミラーリングコントローラが装備されている場合は、SCSIアダプタリストから以下のいずれかを選択し、<Enter>キーを押す。

- N8103-73Aの場合
[LSI Logic MegaRAID i4 Controller Driver]
- N8103-80の場合
[MegaRAID SCSI 320-1 Controller Driver]

N8103-73A/80が接続されている場合には以下のメッセージが表示されますので、<S>キーを押して先へ進んでください。

The driver you provided seems to be newer than the windows default driver.
Windows already has a driver that you can use for
"LSI Logic MegaRAID i4 Controller Driver" *
Unless the device manufacturer prefer that you use the driver on the floppy disk, you should use the driver in Windows.

* 接続されているコントローラによって表示が変わります。

- N8103-74の場合
[WinXP Promise FastTrak 100 (tm) LP/TX2 Controller]

以降は、メッセージに従って作業を続けてください。
インストールの詳細については、「ファーストステップガイド」を参照してください。

ファイルのコピーの後、自動的に再起動します。



フロッピーディスクおよびCD-ROMを取り出す必要はありません。ただし、フロッピーディスクを取り出さない場合は、CD-ROMも取り出さないでください。

以降は、画面の指示に従ってセットアップしてください。詳細については、「ファーストステップガイド」を参照してください。

8 必要に応じて「ステップバイステップインタラクティブ(SBSI)」をインストールする。

SBSIはWindows XPを学習するためのトレーニングソフトウェアです。アニメーションと音声を使用し、簡単で使いやすい学習環境が用意されています。SBSIは、以下の方法でインストールできます。

- (1) SBSI CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- (2) 「<CD-ROMドライブ>:\setup.exe」を実行する。
以降は、メッセージに従ってインストールを行ってください。

9 14ページの説明を参照してシステムのアップデートを行う。

10 15ページ以降の説明を参照してドライバのインストールと詳細設定をする。

アップグレードインストール

Windows 2000がインストールされている装置をWindows XPにアップグレードする手順を次に示します。

- 1 システムの電源をONにし、Windows 2000を起動する。
- 2 管理者権限を持ったユーザーでログオンする。
- 3 Windows XP CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

[実行する操作の選択]画面が表示されます。



ヒント

[実行する操作の選択]画面が表示されない場合は、「<CD-ROMドライブ>: ¥SETUP.EXE」を実行してください。

- 4 [Windows XPをインストールする]を選択する。

アップグレードか新規インストールかを選択するダイアログボックスが表示されます。

- 5 [アップグレード(推奨)]を選択し、[次へ]をクリックする。

メッセージに従って作業を続けてください。ファイルのコピー後、自動的に再起動します。



ヒント

Windows XP CD-ROMはCD-ROMドライブにセットしたままでかまいません。

- 6 装置にディスクアレイコントローラ(N8103-73A/80)かディスクミラーリングコントローラ(N8103-74)が取り付けられている場合は画面上部に「Setup is inspecting your computer's hardware configuration...」が表示されている間に<F6>キーを押す。



チェック

<F6>キーを押しても、このときには画面上には何の変化もありません。

<F6キー>を押す必要がない場合は、これ以降の手順は必要ありません。画面の指示に従ってセットアップしてください。詳細については「ファーストステップガイド」を参照してください。

7 以下のメッセージが表示されたら<S>キーを押す。

Setup could not determine the type of one or more mass storage devices installed in your system, or you have chosen to manually specify an adapter. Currently, Setup will load support for the following mass storage devices.

以下のメッセージが表示されます。

Please insert the disk labeled
manufacturer-supplied hardware support disk
into Drive A:
* Press ENTER when ready.

8 Windows XP OEM-DISK for EXPRESSBUILDERをフロッピーディスクドライブドライブにセットし、<Enter>キーを押す。

SCSIアダプタのリストが表示されます。

9 装置にディスクアレイコントローラやディスクミラーリングコントローラが装備されている場合は、SCSIアダプタリストから以下のいずれかを選択し、<Enter>キーを押す。

- N8103-73Aの場合
[LSI Logic MegaRAID i4 Controller Driver]
- N8103-80の場合
[MegaRAID SCSI 320-1 Controller Driver]

N8103-73A/80が接続されている場合には以下のメッセージが表示されますので、<S>キーを押して先へ進んでください。

The driver you provided seems to be newer than the windows default driver.
Windows already has a driver that you can use for
"LSI Logic MegaRAID i4 Controller Driver" *
Unless the device manufacturer prefer that you use the driver on the floppy disk, you should use the driver in Windows.

* 接続されているコントローラによって表示が変わります。

- N8103-74の場合
[WinXP Promise FastTrak 100 (tm) LP/TX2 Controller]

以降は、メッセージに従って作業を続けてください。
インストールの詳細については、「ファーストステップガイド」を参照してください。

10 必要に応じて「ステップバイステップ インタラクティブ(SBSI)」をインストールする。

SBSIはWindows XPを学習するためのトレーニングソフトウェアです。アニメーションと音声を使用し、簡単で使いやすい学習環境が用意されています。SBSIは、以下の方法でインストールできます。

- (1) SBSI CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- (2) 「<CD-ROMドライブ>:\setup.exe」を実行する。
以降は、メッセージに従ってインストールを行ってください。

11 次ページの説明を参照してシステムのアップデートを行う。

12 15ページ以降の説明を参照してドライバのインストールと詳細設定をする。

システムのアップデート

システムを再起動後、必ず以下のようにシステムをアップデートしてください。



重要

次の場合も必ずシステムのアップデートを行ってください。

- システム構成を変更した場合(システム構成を変更した後、再起動を促すダイアログボックスが表示される場合は[いいえ]をクリックし、システムをアップデートしてください。)
- バックアップ媒体からシステムをリストアした場合(Service Pack関連の Express5800 用差分モジュールを適用したシステムの場合は、再度RURのFDを使用してExpress5800 用差分モジュールを適用してください。このときService Packを再適用する必要はありません。)
- 本装置のBIOSセットアップユーティリティを使って「Hyper-Threading Technology」の設定を変更した場合(プロセッサに関する設定項目です)

1 管理者権限のあるアカウント(administrator等)で、システムにログオンする。

2 CD-ROM「EXPRESSBUILDER」をCD-ROMドライブにセットする。

マスターコントロールメニューが表示されます。

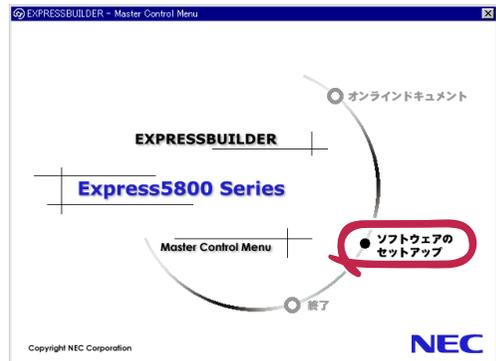
3 [ソフトウェアのセットアップ]を左クリックし、[システムのアップデート]をクリックする。



ヒント

右クリックで現れるポップアップメニューでも同様の操作ができます。

画面のメッセージに従って作業をすすめてください。[コンピュータの再起動]ダイアログボックスが表示されます。



4 [コンピュータの再起動]をクリックしてシステムを再起動させる。

5 システムのシャットダウン開始後、ただちにCD-ROM「EXPRESSBUILDER」をCD-ROMドライブから取り出す。

ドライバのインストールと詳細設定

本体標準装備の各種ドライバのインストールとセットアップを行います。
ここで記載されていないドライバのインストールやセットアップについてはドライバに添付の説明書を参照してください。

PROSet

PROSetは、ネットワークドライバに含まれるネットワーク機能確認ユーティリティです。
PROSetを使用することにより、以下のことが行えます。

- アダプタ詳細情報の確認
- ループバックテスト、パケット送信テストなどの診断
- Teamingの設定

ネットワークアダプタ複数枚をチームとして構成することで、サーバーに耐障害性に優れた環境を提供し、サーバースイッチ間のスループットを向上させることができます。
このような機能を利用する場合は、PROSetが必要になります。

PROSetをインストールする場合は、以下の手順に従ってください。

- 1** CD-ROM「EXPRESSBUILDER」をCD-ROMドライブにセットする。
- 2** スタートメニューから[プログラム]、[アクセサリ]の順にポイントし、[エクスプローラ]をクリックする。
- 3** [<CD-ROMのドライブレター>:\¥WINNT¥XP¥BC1¥PROSet¥WS03XP32]ディレクトリ内の「PROSet.exe」アイコンをダブルクリックする。

[Intel(R) PROSet - InstallShield ウィザード]が起動します。
- 4** [次へ]をクリックする。
- 5** [使用許諾契約の条項に同意します]を選択し、[次へ]をクリックする。
- 6** [標準]を選択し、[次へ]をクリックする。

7 [インストール]をクリックする。

[InstallShield ウィザードを完了しました]ウィンドウが表示されます。

8 [完了]をクリックする。

9 システムを再起動する。

以上で完了です。

ネットワークアダプタの詳細設定

標準装備のネットワークドライバは、自動的にインストールされますが、転送速度とDuplexモードの設定が必要です。



ネットワークドライバを削除してしまった場合は、システムを再起動してください。自動的にインストールされます。

PROSetがインストールされていない場合

1 [ローカルエリア接続のプロパティ]ダイアログを開く。

<標準のスタートメニューモードの手順>

- ① スタートメニューから[コントロールパネル]→[ネットワーク接続]→[ローカルエリア接続]をクリックする。
- ② [プロパティ]をクリックする。

<クラシックスタートメニューモードの手順>

- ① スタートメニューから[設定]→[ネットワーク接続]をクリックする。
- ② [ローカル接続]アイコンを右クリックし、ポップアップメニューから[プロパティ]をクリックする。

2 [構成]をクリックする。

ネットワークアダプタのプロパティダイアログボックスが表示されます。

3 [詳細設定]タブをクリックし、[リンク速度とデュプレックス]をHUBの設定値と同じ値に設定する。

- 4 [Intel(R) PRO/1000 CT Desktop Connectionのプロパティ]ダイアログボックスの[OK]をクリックする。

以上で完了です。

PROSetがインストールされている場合

- 1 [Intel(R) PROSet]ダイアログボックスを表示する。

<標準のスタートメニューモードの手順>

スタートメニューから[コントロールパネル]→[Intel(R) PROSet]をクリックする。

<クラシックスタートメニューモードの手順>

① スタートメニューから[設定]→[コントロールパネル]をクリックする。

② [Intel(R) PROSet]アイコンをダブルクリックする。

- 2 リスト中の[Intel(R) PRO/1000 CT Desktop Connection]をクリックして選択する。

- 3 [速度]タブをクリックし、リンク速度とデュプレックス設定をHUBの設定値と同じ値に設定する。

- 4 [Intel(R) PROSet]ダイアログボックスの[適用]をクリックし、[OK]をクリックする。

以上で完了です。

また、必要に応じてプロトコルやサービスの追加/削除をしてください。[ネットワークとダイヤルアップ接続]からローカルエリア接続のプロパティダイアログボックスを表示させて行います。



ヒント

サービスの追加にて、[ネットワークモニタ]を追加することをお勧めします。[ネットワークモニタ]は、[ネットワークモニタ]をインストールしたコンピュータが送受信するフレーム(またはパケット)を監視することができます。ネットワーク障害の解析などに有効なツールです。インストールの手順は、この後の「障害処理のためのセットアップ」を参照してください。

オプションのネットワークボードのドライバ

オプションのネットワークボード(N8104-84/103/85/111)を使用する場合について説明します。

N8104-84/103の場合

N8104-84/103はドライバが自動的にインストールされますので、ボード添付のドライバを使用しないでください。

N8104-103を使用する場合は、PROSetを起動し[詳細設定]タブより「TCPセグメンテーションのオフロード」の値を「オフ」にしてご使用ください。

N8104-85/111の場合

「EXPRESSBUILDER」CD-ROMに格納されているドライバをインストールしてください。

「<CD-ROMのドライブレター>:¥WINNT¥XP¥BC1¥PRO100¥WS03XP32」

インストール手順が不明な場合は、「オプションボード用ネットワークドライバのインストール」の項を参照してください。

オプションボード用ネットワークドライバのインストール(N8104-85/111の場合)

- 1 デバイスマネージャを起動する。
- 2 [ネットワークアダプタ]→[(ネットワークアダプタ名)]をダブルクリックする。

[(ネットワークアダプタ名)のプロパティ]ダイアログが表示されます。



ヒント

「Intel(R) PRO/1000 CT Desktop Connection」はオンボードになります。これ以外のネットワークアダプタ名がオプションボードになります。

- 3 [ドライバ]タブを選択し、[ドライバの更新]をクリックする。
[ハードウェアの更新ウィザード]が表示されます。
- 4 [一覧または特定の場所からインストールする(詳細)]を選択し、[次へ]をクリックする。
- 5 [次の場所で最適なドライバを検索する]を選択し、[次の場所を含める]にチェックを入れ、次のパスを入力し、[次へ]をクリックする。

「<CD-ROMのドライブレター>:¥WINNT¥XP¥BC1¥PRO100¥WS03XP32」

ドライバの検索が開始され、検索後インストールが始まります。

6 [ハードウェアの更新ウィザードの完了]画面が表示されたら、[完了]をクリックする。

以上で完了です。

グラフィックスアクセラレータドライバ

Expressワークステーションまたはグラフィックスアクセラレータボードに添付の説明書とディスク(フロッピーディスクかCD-ROM)を使用してドライバをインストール後、必要に応じて表示の設定等を行ってください。

サウンドドライバ

サウンドドライバは、以下の手順でインストールしてください。

- 1 CD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。
- 2 スタートメニューから[すべてのプログラム]、[アクセサリ]の順にポイントし、[エクスプローラ]をクリックする。
- 3 「<CD-ROMのドライブ>:SoundMAX」ディレクトリ内の「SdSetup.bat」アイコンをダブルクリックする。

コマンドプロンプトが表示されます。

- 4 「After that, reboot the system manually.」が表示されたら、何かキーを押す。
- 5 コマンドプロンプトが閉じられるので、システムを再起動する。

USB2.0ドライバ

ServicePack1を適用時のみ使用可能です。USB2.0ドライバは、購入時にインストール済みです。システムの修復や再セットアップの際は、システムのアップデートを行うと自動的にインストールされます。

障害処理のためのセットアップ

障害が起きたときに障害からより早く、確実に復旧できるようセットアップをしてください。詳細な手順についてはユーザーズガイドをご覧ください。